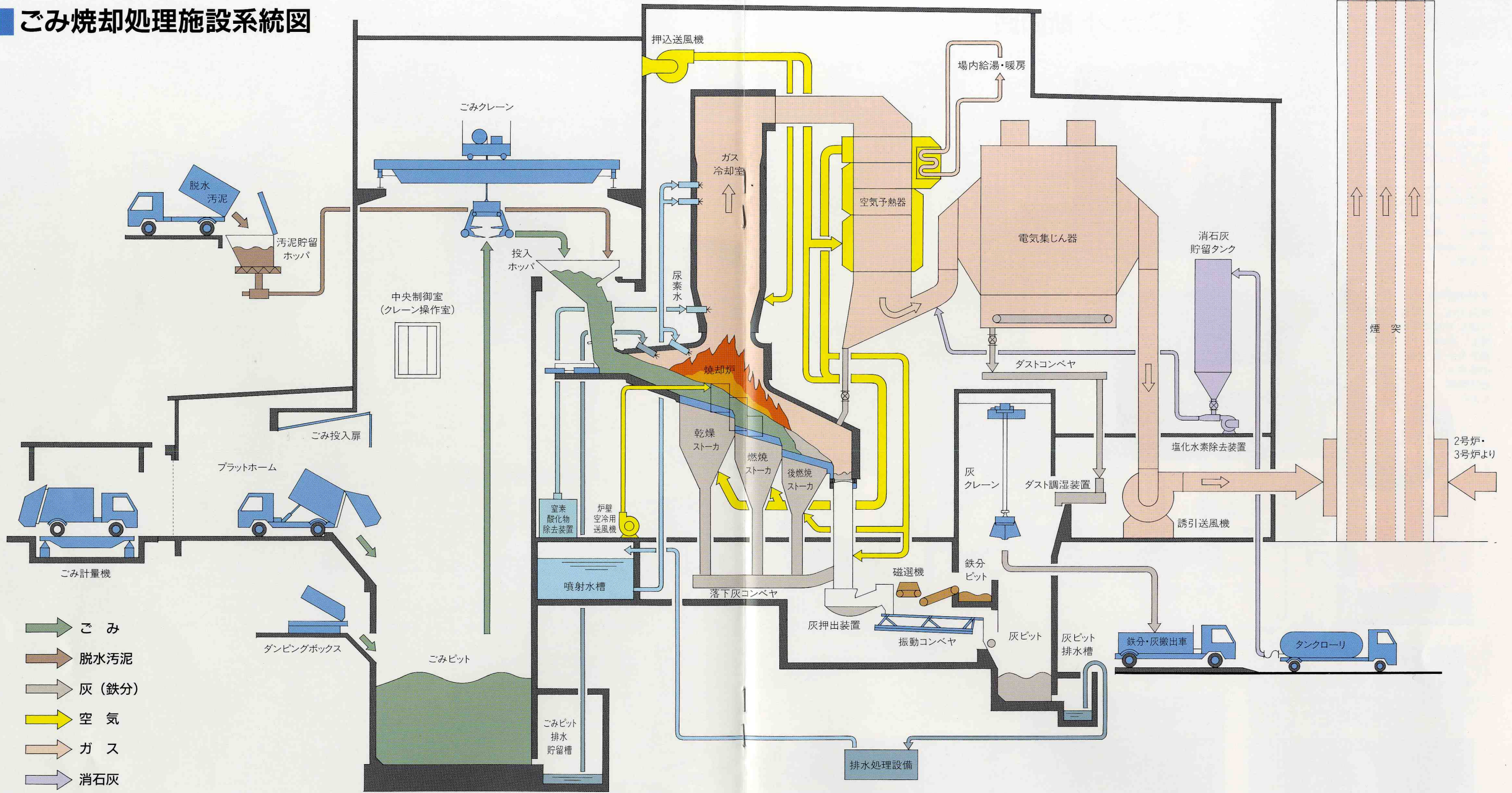


最新システムが、ごみ処理の効率を高め、環境保全を推進します。

■ごみ焼却処理施設系統図



- ごみ
- 脱水汚泥
- 灰（鉄分）
- 空気
- ガス
- 消石灰
- 尿素水
- 排水
- 清水

→ ごみの流れ

一般家庭から出されたごみは、収集車でこの処理施設へ運ばれ、プラットフォームからごみピットに投入されます。いったんピットに貯留されたごみは、ピット内でよく混ぜ合わされた後、クレーンで投入ホッパに供給され、焼却炉内に送り込まれて焼却されます。

→ 灰の流れ

ストーカで焼却されたごみは、灰となって灰押出機へ落下し、灰ビットへ搬送・貯留された後、灰積出車で場外に搬出されます。
また、灰中の鉄分は磁選機で分離され、鉄分ビットに貯留された後、場外へ搬出されます。

→ 空気の流れ

ごみの焼却に必要な空気は、押込送風機でごみピットから吸い込まれ、空気予熱器で焼却に適した温度に加熱された後、各ストーカの下から炉内へ供給されます。
このようにごみピット内の空気を使うことによって、臭気が外部に漏れるのを防いでいます。

→ 燃焼ガスの流れ

ごみの焼却によって発生した燃焼ガスは、ガス冷却室で減温されるとともに、窒素酸化物除去装置、有害ガス除去装置、電気集じん器によってきれいになされた後、誘引送風機で煙突から大気中に放出されます。

→ 排水の流れ

ごみピット汚水は、炉内に噴霧して処理しています。
その他の排水は、場外へ出さないように処理設備で処理した後、再利用しています。（クローズドシステム）